

東部インド洋湧昇研究イニシャティブ（EIOURI）と国際インド洋調査2（IIOE-2）：開始後2年間の展開

Recent progress of Eastern Indian Ocean Upwelling Research Initiative (EIOURI) and International Indian Ocean Expedition-2 (IIOE-2)

*升本 順夫¹

*Yukio Masumoto¹

1. 東京大学大学院理学系研究科

1. Graduate School of Science, The University of Tokyo

1960年代前半に行われた国際インド洋調査から半世紀が経ち、海洋観測技術も大きく発展した現在でも、インド洋の物理、化学、生物研究には多くの未解明なテーマが残されている。また、人類活動が地球環境に影響を与えていることも明らかとなり、インド洋を含む海洋環境への影響も懸念されている。このような状況のもと、インド洋の総合的な観測を主体とした研究計画として国際インド洋調査-2が企画され、2015年12月から開始されている。その中で、特に海洋湧昇域の重要性が注目され、東部および西部インド洋の湧昇域研究イニシャティブ（EIOURIおよびWIOURI）がIIOE-2の重要な研究プロジェクトとして始まった。これらのプロジェクトでは、物理、化学、生物学的視点から湧昇システムの解明と、これらの間の多様な相互関連性を明らかにすることを目的としている。本発表では、EIOURIとIIOE-2の開始後2年間の動向を紹介する。

キーワード：東部インド洋、湧昇、国際プロジェクト

Keywords: Eastern Indian Ocean, upwelling, International project